

夢の共演がついに日本で実現!
世界を魅了する名花がサントリーホールに舞う!!

VADIM REPIN
TRANS-SIBERIAN
— ART FESTIVAL —

トランス=シベリア芸術祭 in Japan 2016

スヴェトラーナ・

ワディム・

ザハローワ & レーピン

“パ・ド・ドウ for Toes and Fingers”

Svetlana Zakharova & Vadim Repin

バレエ予定演目(全曲は裏面):

アルビノーニ:「オーボエ協奏曲」(ザハローワ&ロブーヒン)

ペルト:「フラトレス」(ザハローワ&ヴァルナヴァ)

「Revelation」

～ジョン・ウィリアムズ: シンドラーのリストより(ザハローワ)

「瀕死の白鳥」～サン=サーンス: 白鳥(ザハローワ)

バッジニー:「妖精の踊り」(ザハローワ&ザグレピン&ロブーヒン)

© Vladimir Fridkes

出演:

スヴェトラーナ・ザハローワ(バレエ)
Svetlana Zakharova, dancer

ワディム・レーピン(ヴァイオリン)
Vadim Repin, violin

ミハイル・ロブーヒン(バレエ)
Mikhail Lobukhin, dancer

ウラジーミル・ヴァルナヴァ(バレエ)
Vladimir Varnava, dancer

ドミトリー・ザグレピン(バレエ)
Dmitry Zagrebin, dancer

フェスティバル・アンサンブル
Festival Ensemble

Friday
17
JUNE
19:00

2016 6.17 [金] 19:00開演
サントリーホール
Suntory Hall

入場料: S ¥17,000 A ¥12,000 B ¥7,000 [2/28(日)一般発売]

チケットお申込み

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL> イープラス <http://eplus.jp> (PC&携帯)

チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答レコード: 449-605) <http://t.pia.jp> (PC&携帯)

ローソンチケット 0570-084-003 (音声自動応答レコード: 31457) 0570-000-107 (オペレーター対応10:00~20:00) <http://l-tike.com/> (PC&携帯)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

Hibiki to the World

SUNTORY HALL
30th

AMATI

主催・お問合せ: AMATI Tel.03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-3201 <http://www.amati-tokyo.com/>

後援: ロシア連邦外務省/ロシア連邦文化省/駐日ロシア連邦大使館/ロシア連邦文化協力庁/ロシア文化フェスティバル組織委員会

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※やむをえない事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。



ザハロワ&レーピン 夢の共演!

2013年スイスの音楽祭で実現した二人の舞台が、ロシア、イタリア(ラヴェンナ、ローマ)で再演を重ね、満を持してついに日本で実現します。ヴァイオリニスト、レーピンが子供の頃から何度も何度も演奏しホームグラウンドの様に感じているサントリーホールに最愛の妻であるザハロワが初登場、この二人でなければありえない「これぞザハロワ!」といっても過言ではない究極のプログラムを披露してくれます。サポートするのはボリショイ・バレエのスター、ミハイル・ロブーヒンをはじめとする3人のダンサー、そして日本の俊英達による弦楽合奏団、サントリーホールでの一夜限りのスペシャル・ステージをお見逃しなく。

PROGRAM

モーツァルト: ディヴェルティメント ニ長調 K.136より第1楽章

W. A. Mozart: 1st movement from Divertiment in D major, K. 136

アルビノーニ: オーボエ協奏曲 ニ短調 作品9(ヴァイオリン独奏版)

振付: E. リアン

Albinoni: Oboe Concerto in D minor, op. 9 (version for Violin) Choreography: Edwaard Liang

メンデルスゾーン:

ヴァイオリンと弦楽のための協奏曲 ニ短調より第2、3楽章

F. Mendelssohn: 2nd & 3rd movements from Concerto for Violin and Strings in D minor

ペルト: 「フラトレス」 振付: V. ヴァルナヴァ

A. Pärt: Fratres Choreography: Vladimir Varnava

クライスラー: 中国の太鼓

F. Kreisler: Tambourin Chinois

「Revelation」(ジョン・ウィリアムズ: シンドラーのリストより)

振付: 平山素子 ※録音による演奏

J. Williams: "Revelation" from "Schindler's List" Choreography: Motoko Hirayama

モンティ: チャールダーシュ

V. Monti: Csardas

「瀕死の白鳥」(サン=サーンス: 白鳥) 振付: M. フォーキン

C. Saint-Saens: Dying Swan Choreography: Mikhail Fokine

ボンセ(ハイフェッツ編): エストレリータ

M. Ponce (arr. by J. Heifetz): Estrellita

バッジニー: 「妖精の踊り」作品25 振付: J. コボ

A. Bazzini: "Dance of Gnomes", op. 25 Choreography: Johan Kobborg

ワディム・レーピン (ヴァイオリン)

Vadim Repin, violin

1971年ノヴォシビルスク生まれ。5歳でヴァイオリンをはじめ、その6ヶ月後にはステージで初めての演奏を果たした。11歳でヴェニヤフスキ・コンクール優勝、1985年には14歳にして東京、ミュンヘン、ベルリン、ヘルシンキ、翌年にはカーネギーホールにデビュー。そしてさらに2年後、17歳でエリザベト王妃国際コンクール優勝、以来、ベルリン・フィル、ボストン響、シカゴ響、クリエヴァンド管、イスラエル・フィル、ロンドン響、パリ管、コンセルトヘボウ管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィル、スカラ・フィルをはじめ、世界有数のオーケストラと共演を続けている。リサイタル、室内楽でもルガンスキー、アルゲリッチ、キーン、マイスキー、クニャーゼフ等がパートナーである。CD録音も多く、ワーナー、ドイツ・グラモフォンに数々の名盤を残している。使用楽器は1735年作のグアルネリ・デル・ジェズ「ラフォン」。2014年より芸術監督として故郷ノヴォシビルスクにてトランス・シベリア芸術祭を主宰している。

スヴェトラナ・ザハロワ (バレエ)

Svetlana Zhakharova, dancer

ウクライナ共和国出身。国立キエフ・バレエ学校でワレーリヤ・スレーギナに学ぶ。1995年にワガノフ・バレエ・アカデミーに転校、エレナ・エフデーエワに師事。翌年、マリインスキー劇場バレエに入団、1997年プリンシパルに昇格。またマリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・バレエ、ABT、新国立劇場など世界のバレエの殿堂からも招聘される。2003年よりボリショイ劇場のプリンシパル。「眠れる森の美女」、「白鳥の湖」、「ジゼル」、「パヤデール」、「ドン・キホーテ」、「海賊」、「ラ・シルフィード」、「パフチサライの泉」(R. ザハロワ版)、「ロメオとジュリエット」(L. ラヴロフスキー版)などのクラシック・バレエに加え、マクミラン「マノン」、バランシン「アポロ」、「ジュエルズ」、「セレナーデ」、「シンフォニー・イン・C」、ノイマイヤー「ナウ・アンド・ゼン」などの現代作品まで幅広いレパートリーで世界を魅了し続けている。これまでワガノフ賞、ゴールデンマスク賞、ゴールデンソフィット賞、ブノワ・ドラ・ダンス賞などを受賞。ロシア連邦人民芸術家。

ミハイル・ロブーヒン (バレエ)

Mikhail Lobukhin, dancer



レニングラード(現サンクトペテルブルク)出身。2002年にワガノフ・バレエ・アカデミーを卒業。同アカデミーでボリス・プレグワゼのもと芸術学士号を優秀な成績で取得。同年マリインスキー・バレエに入団し、「ジゼル」、「海賊」、「ラ・パヤデール」、「白鳥の湖」、「ライモ

ンダ」、「ドン・キホーテ」はじめクラシックから現代作品まで幅広いレパートリーを踊る。2010年ボリショイ・バレエに移籍後も「ロメオとジュリエット」、「スバルタクス」、「カルメン組曲」などレパートリーをさらに広げ活躍。日本へも度々来日している。

ウラジーミル・ヴァルナヴァ (バレエ)

Vladimir Varnava, dancer



ハンティ・マンシースクにあるモスクワ国立文化芸術大学付属の才能ある子供のための芸術センターで学ぶ。2008年カレリアの劇場にソリストとして招かれ、クラシックからコンテンポラリーまで数々の主要な役を踊る。2010年史上最年少の21歳でロシアの舞台芸術界で最も権威あるゴールデンマスク賞を最年少で受賞。近年はロシア国内に限らず、イギリス、スイス、イタリア、フランス、北欧諸国などでも高い評価を得ている。2013年にはザハロワのためにペルトの音楽による"Plus.Minus.Zero"を振り付けた。

ドミトリー・ザグレビン (バレエ)

Dmitry Zagrebina, dancer



モスクワのバレエ・ダンサーの家系に生まれる。2007年ロシア国立モスクワアカデミー舞踊学校のアレクサンドル・ボンダレンコのクラスを卒業。ボリショイ・バレエに入団。2012年よりモスクワ音楽劇場バレエのソリストを務める。2008年ヴァルナ国際バレエ・コンクールで第3位、2009年にはモスクワ・バレエ・コンクールで優勝、2010年にはソウル国際ダンス・コンクールで優勝している。

<トランス=シベリア芸術祭 in Japan 2016 その他の東京公演>

「レーピン&諏訪内&マイスキー&ルガンスキー」

2016年6月18日(土) 18:00開演 サントリーホール

[出演] ヴァイオリン: ワディム・レーピン、諏訪内晶子、田中杏菜

ヴィオラ: アンドレイ・グリチュク

チェロ: ミツシャ・マイスキー ピアノ: ニコライ・ルガンスキー

「レーピン×マイスキー 鮮烈なる協奏曲」

2016年6月22日(水) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

[出演] ヴァイオリン: ワディム・レーピン

チェロ: ミツシャ・マイスキー

指揮: 広上淳一 管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団

詳細は、www.amati-tokyo.com